

① 研究課題名：

腎臓癌に対する陽子線治療の多施設共同後ろ向き観察研究

② 研究の目的：

名古屋市立西部医療センター陽子線治療科（名古屋陽子線治療センター）では、兵庫県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター（研究代表医師：福光延吉）が実施する多施設共同研究に参加しています。

従来、放射線治療は腎臓癌の治療には不適と考えられてきました。しかし、近年放射線医療技術の進歩により、放射線治療の有効性が報告されつつあります。陽子線治療は放射線治療の一種ですが、各施設での腎臓癌の経験症例数は数例程度であり、まとまった報告はされていません。そこで、本研究では、全国の陽子線治療施設において、腎臓癌の方の陽子線治療に係る診療情報を収集し、外科手術や定位放射線治療などの既存治療の成績との比較検討を行い、腎臓癌に対する陽子線治療が有益となりうる対象を明らかにすることを目的としています。

③ 研究期間：

2019年 4月 ～ 2019年 12月 31日

④ 研究代表者及び研究実施施設一覧

研究代表者：兵庫県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター 副センター長 福光延吉

研究実施施設：北海道大学大学院医学研究科放射線医学分野、札幌榎心会病院陽子線治療センター、南東北がん陽子線治療センター、筑波大学附属病院・陽子線治療センター、国立がん研究センター東病院、相澤病院 陽子線治療センター、静岡県立静岡がんセンター、大阪陽子線クリニック、福井県立病院陽子線がん治療センター、兵庫県立粒子線医療センター、兵庫県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター、岡山大学・津山中央病院共同運用 がん陽子線治療センター、メディポリス国際陽子線治療センター、名古屋市立西部医療センター（名古屋陽子線治療センター）（計14施設）

⑤ 研究の対象：

2013年2月1日から2016年12月31日の期間に、名古屋市立西部医療センターにて腎臓癌と診断され、陽子線治療受けられた方。

⑥ 調査項目：

- ・ 基本情報：疾患名、組織型、初回治療の内容（手術、放射線治療、化学療法）、治療後の無再発期間、病変の部位（左右）、病変数、腎機能（BUN、Cre、GFR）
- ・ 陽子線治療に係る情報：陽子線治療開始時年齢、陽子線治療開始日、陽子線治療終了

日、陽子線の総線量／分割回数、陽子線を照射した腫瘍の部位（左右）、陽子線を照射した腫瘍の最大径(mm)、照射した病変の個数（同時に複数個の腫瘍を照射した場合）、照射した部位への照射歴の有無、治療中止の有無

・治療後情報：有害反応、治療部位の局所再発の有無、陽子線治療後の遠隔転移の有無、転帰など

⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入します。得られた情報は、データセンター（筑波大学陽子線医学利用研究センター）に提供され、集計・解析されます。

⑧ 研究成果の公開

本研究の成果は関連学会に公表し、論文化して公表する予定です。

⑨ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて症例調査票を作成します。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。また、学会等で公表される際にも、あなたの個人情報は一切公表されません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。

⑩ 利益相反

本研究は「筑波大学陽子線医学利用研究センター」の運営交付金により実施されます。

なお、本研究の研究者は、名古屋市立病院臨床研究審査委員会にて利益相反の審査と承認が得られています。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	診療科	研究責任者
名古屋市立西部医療センター 住所：〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1	陽子線治療科	荻野 浩幸 TEL：052-991-8121 (代表)